

エメックス国際セミナー

世界の閉鎖性海域 ～沿岸域環境の現在と今後の取り組み～

EMECS International Seminar

Enclosed Coastal Seas in the World ～ Present and Future of Coastal Environment Policy ～



日時： 2017年7月12日(水) 午後1時30分～午後4時20分

会場： ラッセホール 2階 ルージュローズ

主催： (公財)国際エメックスセンター

後援： 兵庫県、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、(公社)瀬戸内海環境保全協会
(特非)瀬戸内海研究会議、ひょうご環境保全連絡会、(公財)ひょうご環境創造協会、兵庫県環境保全管理者協会、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)

Time / Date : 13:30 – 16:20 , (Wed) July 12, 2017

Venue: Rouge Rose, 2nd floor, Lasse Hall

Organizer: International EMECS Center

Supporters: Hyogo Prefectural Government, Governors and Mayor's Conference on the Environmental Protection of the Seto Inland Sea, The Association for the Environmental Conservation of the Seto Inland Sea, The Research Institute for the Seto Inland Sea, Hyogo Environmental Conservation Association, Hyogo Environmental Advancement Association, Hyogo Prefecture Association for Corporate Environmental Conservation, The Asia-Pacific Network for Global Change Research, The Institute for Global Environmental Strategies



(公財) 国際エメックスセンター

International EMECS Center

プログラム Program

時間 / Time	講演テーマ / Lecture theme	講師 / Lecturer
13:30 – 13:40	主催者挨拶 / Opening Remarks	築谷 尚嗣 Naotsugu Tsukidani 国際エメックスセンター専務理事 Executive Director, International EMECS Center
【講演】 【Lectures】	座長：渡邊 正孝 国際エメックスセンター科学・政策委員長、中央大学研究開発機構教授 Moderator: Masataka Watanabe Chair, EMECS Scientific and Policy Committee Professor, Research and Development Initiative, Chuo University	
13:40 – 14:15	〈講演 1 / Lecture 1〉 変わりゆく日本海！ ～健全な海洋環境の保全に向けて～ The changing Japan Sea: Toward the conservation of a healthy marine environment	張 勁 富山大学理学部・大学院理工学 部教授 Jing Zhang Professor, Toyama University (Japan)
14:15 – 14:50	〈講演 2 / Lecture 2〉 瀬戸内海を巡る新たな管理方策の再認識 Recognition to the new direction of the management of the Seto Inland Sea	松田 治 国際エメックスセンター副理事長、 広島大学名誉教授 Osamu Matsuda Vice Chair, Board of Directors, International EMECS Center Professor Emeritus, Hiroshima University (Japan)
14:50 – 15:00	休憩 / Short break	
15:00 – 15:35	〈講演 3 / Lecture 3〉 米国とブラジルの沿岸域環境の評価 ～環境ヘルスレポートカードを活用して～ Integrating monitoring data into environmental health report cards in the U.S. and Brazil	デイヴィッド・ネマジー メリーランド大学環境科学センタ ー首席補佐官(米国) David Nemazie Chief of Staff, University of Maryland Center for Environmental Science (USA)
15:35 – 16:10	〈講演 4 / Lecture 4〉 タイランド湾と環境課題 The Gulf of Thailand and the environmental issues	ピアムサック・メナサウエイド タイ王立学会フェロー、名誉教授 (タイ) Piamsak Menasveta Professor Emeritus, Fellow of the Royal Society of Thailand (Thailand)
16:10 – 16:15	座長総括 / Summary by moderator	
16:15 – 16:20	閉会挨拶 / Closing address 河内 紳吾 国際エメックスセンター事務局長 Shingo Kochi Director, International EMECS Center	



座長・講演者 Moderator and lecturers

渡邊 正孝 **国際エメックスセンター科学・政策委員長、中央大学研究開発機構教授**
Prof. Masataka Watanabe Chair, EMECS Center Scientific & Policy Committee / Professor, Chuo University

京都大学工学部卒業。同大学院修士課程修了後マサチューセッツ工科大学(MIT)にて博士号取得。その後MIT 研究員、国際応用システム解析研究所研究員、国立環境研究所水圏環境研究領域長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授、慶應義塾大学環境情報学部教授を歴任。2014年より現職。
中国科学院地理科学与環境資源研究所客員教授。
2009年よりEMECS科学政策委員会委員長、2010年よりUNEPアジア太平洋適応ネットワーク議長に就任。
専門は生態系モデリング、気候変動影響予測、気候変動適応計画、持続可能管理・政策



張 勁 **富山大学教授**
Prof. Jing Zhang Professor, Toyama University (Japan)

1989年中国東北大学卒業後来日。1992年東京大学大学院理学系研究科修士、95年同博士課程修了、博士(理学)。科学技術庁放射線医学総合研究所特別研究員を経て、1998年より富山大学に勤務。2008年より富山大学教授。SCOR(国際海洋研究科学委員会)日本指名代表委員。日本学術会議連携会員。環日本海環境協力センター理事。国際エメックスセンター 科学・政策委員。
専門は、化学海洋学と環境地球化学。研究内容は地球温暖化などに起因する環境変化、縁辺海洋の物質循環とメカニズムの解明。業績多数。2007年とやま賞受賞。



松田 治 **国際エメックスセンター副理事長、広島大学名誉教授**
Prof. Osamu Matsuda Vice Chair, Board of Directors, EMECS Center
Professor Emeritus, Hiroshima University (Japan)

1968年東京大学農学部水産学科を卒業後、1971年より広島大学で瀬戸内海や閉鎖性海域の研究と教育に従事、2003年より広島大学名誉教授。専門は水域物質循環論、沿岸環境管理や自然再生。北極海、南極海、熱帯域、南北太平洋などで幅広くフィールドワークを行っている。
農林水産省生物多様性戦略検討会委員や環境省の中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会委員長、海域の物質循環健全化計画(統括)検討委員長、閉鎖性海域水質管理手法調査検討委員長等を歴任後、現在も中央環境審議会水環境部会総量削減専門委員会委員など数多くの委員の他、NPO法人瀬戸内海研究会顧問に就任している。2015年より国際エメックスセンター副理事長。



デイヴィッド・ネマジー **メリーランド大学環境科学センター首席補佐官 (米国)**
Mr. David Nemazie Chief of Staff, University of Maryland Center for Environmental Science (USA)

1991年米国・メリーランド大学大学院海洋・河口域・環境科学プログラムで修士を取得。卒業後、同大学ホーンポイント研究所のリサーチアシスタント、同大学管理センターのシニアリサーチアシスタント、同大学学長アシスタント、同大学対外部門担当副学長アシスタントを経て2015年から現職。
2003年から日本、中国、ブラジル、フィンランド、ハンガリー等の国からのチェサピーク湾訪問団の受入、2013年から環境回復におけるメリーランド州およびブラジル・リオデジャネイロ州の2州間関係の促進を現在まで行っている。2013年から2015年はフィリピンのバエ湖のための環境健康レポートカード開発を促進し、2011年はボルティモアで開催した第9回世界閉鎖性海域環境保全会議(第9回エメックス会議/EMECS9)の現地コーディネーター等を務めた。2015年から国際エメックスセンター科学・政策委員。



ピアムサック・メナサウェイド **タイ王立学会フェロー、名誉教授 (タイ)**
Prof. Piamsak Menasveta Professor Emeritus, Fellow of the Royal Society of Thailand (Thailand)

1972年ワシントン大学(米国)修士(水産学)、1974年博士号(水産学)取得。専門は海洋科学、水産養殖、海洋バイオテクノロジー。
1986年~2004年チュラロンコン大学-国立遺伝子工学・生物工学研究所共同事業「海洋生物工学研究ユニット」ユニット長
1992年~2000年チュラロンコン大学水資源省研究所長
2002年~2003年チュラロンコン大学環境調査研究所長
2003年~2007年チュラロンコン大学理学部長
2007年~2010年タイ王立研究所副所長
2010年~タイ国独立環境・健康保護委員会委員長
1974年以降、水産養殖、水質汚染科学、水環境研究テクニック、漁業生物学等を教える。タイ王冠勳章勲一等(大十字騎士賞)、タイ白象勳章勳特等(大綬騎士章)受章。



◆◆◆◆ *Memo* ◆◆◆◆